

第2回幼稚園教諭経年者研修会

今年度から新しくスタートした「幼稚園教諭経年者研修会」は、年間2回の開催となります。去る12月4日(金)に開催した第2回は、糸満市立兼城幼稚園 稲嶺あゆみ教諭により「幼児が表現する楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫～ついたり、かいたりする造形遊びを通して～」と題して、実践報告が行われました。その後、「幼児が表現する楽しさを味わうための教材の工夫について」について、4～5名のグループ編成で、実際の工夫した教材やアイデアを持ち寄っての協議となり、グループごとに協議を行いました。最後は、参加者20名全員が、教材の活用や工夫したポイントを発表しました。それぞれが、子ども達の実態に対応して工夫され、明日からの実践に活かせる充実したものとなりました。

【研修会の概要】

- 1 開会
 - (1) 開会のことば
 - (2) 所長のあいさつ・講師紹介
島尻教育研究所 所長 上原雅志
- 2 実践発表
「幼児が表現する楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫～ついたり、かいたりする造形遊びを通して～」
発表者 糸満市立兼城幼稚園教諭 稲嶺あゆみ
- 3 グループ協議
「幼児が表現する楽しさを味わうための教材の工夫について」
- 4 お礼のことば
南城市立大里南幼稚園 教諭 保久盛陽子
- 5 協議
協議題：「幼児が表現する楽しさを味わうための教材の工夫について」
- 6 まとめ 島尻教育研究所 指導主事 大城美恵子
- 7 閉会のことば



写真1 実践発表



写真2 グループ協議の様子



写真3 発表の様子

【実践発表の概要】 発表者：兼城幼稚園 教諭 稲嶺あゆみ

- 1 テーマ設定の理由
 - (1) 園児の実態 (2) 保育の課題 (3) 研究目標
- 2 研究の内容
 - (1) 表現とは (2) 表現が成り立つためには
 - (3) 感性とは (4) 自分なりに表現するとは
- 3 研究の実践
 - (1) 検証保育① (2) 検証保育② (3) 検証保育③
- 4 成果と課題
- 5 古蔵幼稚園での表現の環境構成と援助を学んで
- 6 今年度 (H27年度)の取組み
 - (1) クレヨンへの導入 (2) 用具の使い方
 - (3) 秋の遠足→導入、話し合い→動物園づくり→楽しい動物園の壁面
 - (4) 生活発表会→多様な素材・用具、制作途中作品展示→手作り楽器

受講生の感想 (研修終了後のアンケートから)

- 子ども達が表現活動を楽しむことができるようにするには、用具の正しい使い方を事前に指導することや、五感に働きかける体験が必要だと改めて知り、実践を通してその方法を知ることが出来たので、はさみやクレヨン、のりの使い方の指導の実践をしていきたいと思いました。
- 用具の準備、配置の仕方、使い方、教師の言葉かけ等がいかに大切かということをも改めて考えさせられました。幼稚園の環境を見直し、子ども達が主体的に活動できるようにしていきたいと思いました。
- 先生方が考えたオリジナル教材は、その先生の意図や思いがあり、幼稚園に持ち帰って、子ども達と作りたいと思うものばかりで、とてもいい協議になりました。
- 協議の中で、地域の行事や周辺散歩でみつけた物を教材として取り入れていることや身体の仕組みを知ることで、画を描くときの助けにもなるがありわかり、ぜひ、取り入れてみたい(作ってみたい)と思いました。

工夫された教材



写真4 身体づくり・関節



写真5 ペットボトルマラカス



写真6 ネット図形



写真7 牛乳パックペープサート



写真8 しゅりけんの折り方



写真9 牛乳パックカスタネット



写真10 ペットボトルスノー



写真11 牛乳パック独楽